

# 巡って学ぼう！

## 須磨アルプスと六甲の地形

須磨海岸を見渡せる鉢伏山や須磨アルプスなど、六甲山地やニュータウンなどの魅力に触れてみよう！



### 散策マップについて

このマップは防災学習ゾーン「妙法寺川物語」のモデル散策マップです。裏面で各散策ポイントに関する情報を紹介しています。



より詳しい情報を掲載した冊子や他の散策マップ、散策しながら学習できるサブノートなどの入手先

は、六甲砂防事務所HPをご覧ください。



**守って欲しいこと**  
家族など大人と一緒に山に登りましょう！  
登山する時の服装と準備するもの

**1. 服装**  
動きやすい服装で、はきなれた運動靴や登山靴をはきましょう！

**2. 準備するもの**  
地図(必需品) リュックサック  
雨具(カッパ) 水  
おむすびやパンなどの食料  
あめやチョコレートなどの行動食  
方位磁針(コンパス) 筆記用具  
カメラ ...など

**3. 注意するもの**  
山で火を使わない! ゴミは持ち帰る!  
動物にえさをやらない!  
とっていいのは写真だけ、草花などは採取しないで観察しましょう!  
マムシ、ヤマカガシ、スズメバチなどに会ったら要注意!

### マップの見方

- 【見学ポイント】
- 「不思議」に触れる見学ポイント
  - 「素晴らしさ」を知る見学ポイント
  - 「安全」を考える見学ポイント
  - 上記3つの内2つ以上共通する見学ポイント

- 【移動手段】
- 徒歩 (分: 矢印間の移動時間の目安)

- 【その他】
- 駅
  - 鉄道
  - 学校
  - トイレ

### 散策ポイント

- ★ **スタート** 山陽電鉄須磨浦公園駅
- 鉢伏山(展望台) 約1.3km 約35分
  - 風化を受けていない花こう岩 (須磨浦山上遊園付近) 約0.3km 約15分
  - 大きな断層に挟まれた旗振山 約0.1km 約15分
  - 大きな断層に挟まれた鉄拐山 約0.7km 約20分
  - 須磨ニュータウン高倉台(高倉台公園) 約1.3km 約40分
  - 梅尾山 約0.9km 約30分
  - 横尾山 約0.5km 約20分
  - 馬の背 約0.7km 約30分
  - 須磨ニュータウン横尾(椿谷公園) 約1.5km 約40分
  - 護摩谷第二えん堤 約0.2km 約5分
- ★ **ゴール** 市営地下鉄妙法寺駅 約0.5km 約10分

【問い合わせ先】  
国土交通省 六甲砂防事務所  
住所: 〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15  
電話: 078-851-0535  
ホームページ: <http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/>



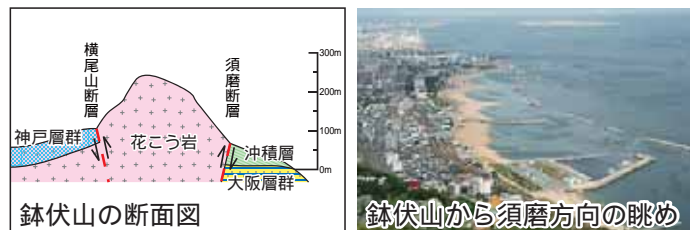
# 巡って学ぼう！須磨アルプスと六甲の地形 (ポイントの紹介)

実際に見学した箇所の「印」にチェックをしよう！  
印横の数字は「冊子」の関連ページです。

## 鉢伏山(展望台)

□ 2,8P

この山は約100万年前、北西 - 南東の両方向からの強い圧縮力が長い期間にわたって続いたため、山を押し上げてきたといわれています。鉢伏山そのものは花こう岩でできており、北西側のふもとは神戸層群、南東側は大阪層群で、それぞれ花こう岩とは断層で接しています。



鉢伏山は両方から押し上げられてきた山なんだよ！

## 須磨ニュータウン高倉台(高倉台公園)

□ 11,12,23P

昭和40年代(1965年ごろ)、高倉山をけずり、その土砂をベルトコンベヤで須磨海岸へ運び、ポートアイランドなどに埋め立てました。高倉台団地は高倉山をけずったあとにできた団地です。

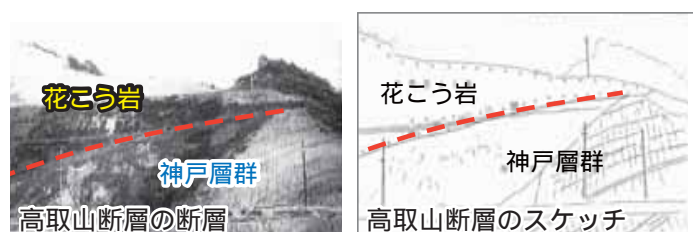


どのように街が発展したのかな？

## 須磨ニュータウン横尾(椿谷公園)

□ 11,15P

六甲山地には多くの断層があり、これまでに住宅開発の工事現場などで確認されています。横尾団地は高倉台と同様、昭和50年代(1975年ごろ)に整備された須磨ニュータウンの団地で、妙法寺駅が造られた時に高取山断層が確認され、当時の写真などが残っています。



## 風化を受けていない花こう岩

□ 5,18P

六甲山の多くの部分は花こう岩でできていますが、強い圧縮力を受けて大きな割れ目が出来たり、風化してボロボロになったりしたものなどが多くの場所で見られます。鉢伏山山上近くでは、風化がそれほど進んでいない花こう岩を見ることができます。



御影石って呼んでる石が、花こう岩なんだ！

## 梅尾山・横尾山・馬の背(須磨アルプス)

□ 2,18,25P

須磨アルプスは大部分が花こう岩でできています。横尾山から東山への須磨アルプスの中で、「馬の背」と呼ばれる横尾山東方の尾根では、風化した花こう岩が、露出して険しいがけをつくり、特有の景観が見られます。この景観は、風化した花こう岩がしばしばがけ崩れを起こしたり、常に浸食を受けやすく、植物が育たないためにできたものです。



須磨アルプスでは、強い力で押されてボロボロになった花こう岩が見られるよ！

## 護摩谷第二えん堤

□ 82P

急激なニュータウンの開発が行われ、図の位置(横尾中学校の西)にあるこの砂防えん堤は、すっかり街の中に飲み込まれてしまいました。

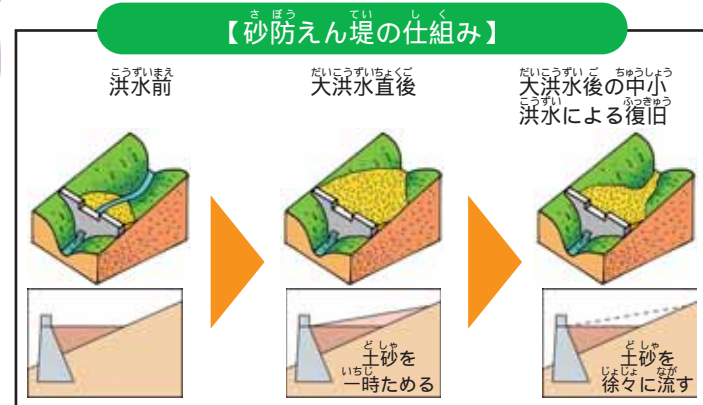


ニュータウン開発で飲み込まれた砂防えん堤の位置

砂防えん堤には、ニュータウンの開発などによって街の中に飲み込まれてしまったものもあるんだよ！

## 砂防えん堤の仕組み

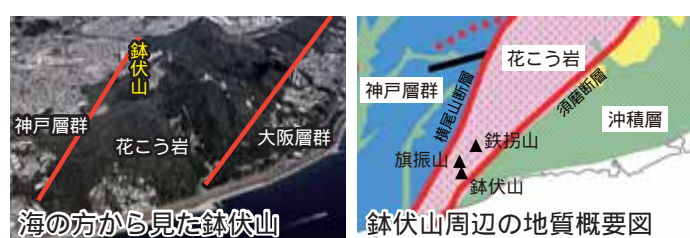
砂防えん堤は、山から流れ出た土砂を一時受け止め、下流に一気に流れないようにします。その後、たまった土砂を少しずつ下流へ流します。



## 大きな断層に挟まれた旗振山・鉄拐山

□ 1,2,8,14P

鉢伏山とあわせて、私たちの住む須磨地域の背山である旗振山、鉄拐山などは東西両側の大きな断層で神戸層群、大阪層群に接しています。



断層ってどんなもの？

## 須磨周辺の植物

須磨周辺では、季節に応じてさまざまな植物が見られます。



## 須磨周辺の生き物

須磨周辺では、さまざまな生き物が見られます。

